

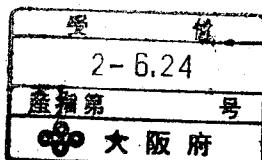
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2年 6月 30日

大阪府知事 殿



提出者

住 所 大阪市浪速区湊町1丁目4-38
近鉄新難波ビル
氏 名 大日本土木株式会社西日本支社
執行役員支社長 小林 良一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6632-7099

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大日本土木株式会社大阪支店 大阪府下作業所 (大阪市・堺市・豊中市・吹田市・高槻市・枚方市・八尾市、東大阪市域を除く)
事業場の所在地	交野市私市2丁目24 交野私市P作業所、他
計画期間	令和2年 4月 1日～令和3年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完工高 311億円 (西日本支社管内)
③従業員数	223名 (西日本支社管内)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙3集計表のとおり

		【前年度(元年度)実績】				
①現状	産業廃棄物の種類					
		排出量	t	t		
(これまでに実施した取組)						
②計画	<ul style="list-style-type: none"> 材料の工場加工等により廃材発生の削減、搬入資機材・梱包材の減容化・減量化を図った。 作業所が定めた減量化方法を周知させ、また、具体的な実施内容や注意事項を朝礼広場、工事関係者の集合場所に掲示した。 					
	【目標】					
①現状	産業廃棄物の種類					
		排出量	t	t		
(今後実施する予定の取組)						
”①現状”で実施した項目をさらに推し進める。						

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> 金属くず・段ボール・木くず等、再生利用可能なものについては、取引業者・搬出先の有無を調査の上、有価物と廃棄物に分別して排出を行った。 協力業者ごとに、どのような廃棄物が発生し、どのような分別方法にするかを作業所で具体的に検討した。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none"> ”①現状”で実施した項目をさらに推し進める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 別紙3集計表のとおり

①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 別紙3集計表のとおり

①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（元 年度）実績】 別紙3集計表のとおり		
		産業廃棄物の種類		
①現状		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
		実施していない。		
		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
②計画		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		実施予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙3集計表のとおり

		【前年度（元 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以 外 の熱回収を行う業 者	t	t
		(これまでに実施した取組)		
		・電子マニフェスト化を進め、煩雑な事務処理作業を低減した。 ・紙マニフェストについては、弊社の産業廃棄物一括管理システムにより処理状況を管理した。 ・産業廃棄物収集運搬業者・処理業者に対して、J W n e t • e - r e v e r s eへの加入を奨励した。 ・作業所に対して、業者選定の際には優良認定処理業者と優先的に委 託契約を結ぶように推奨した。		

		【目標】		
		産業廃棄物の種類		
②計画	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	外の熱回収を行う業者		t	t
(今後実施する予定の取組) ”①現状”で実施した項目をさらに推し進める。				
※事務処理欄				

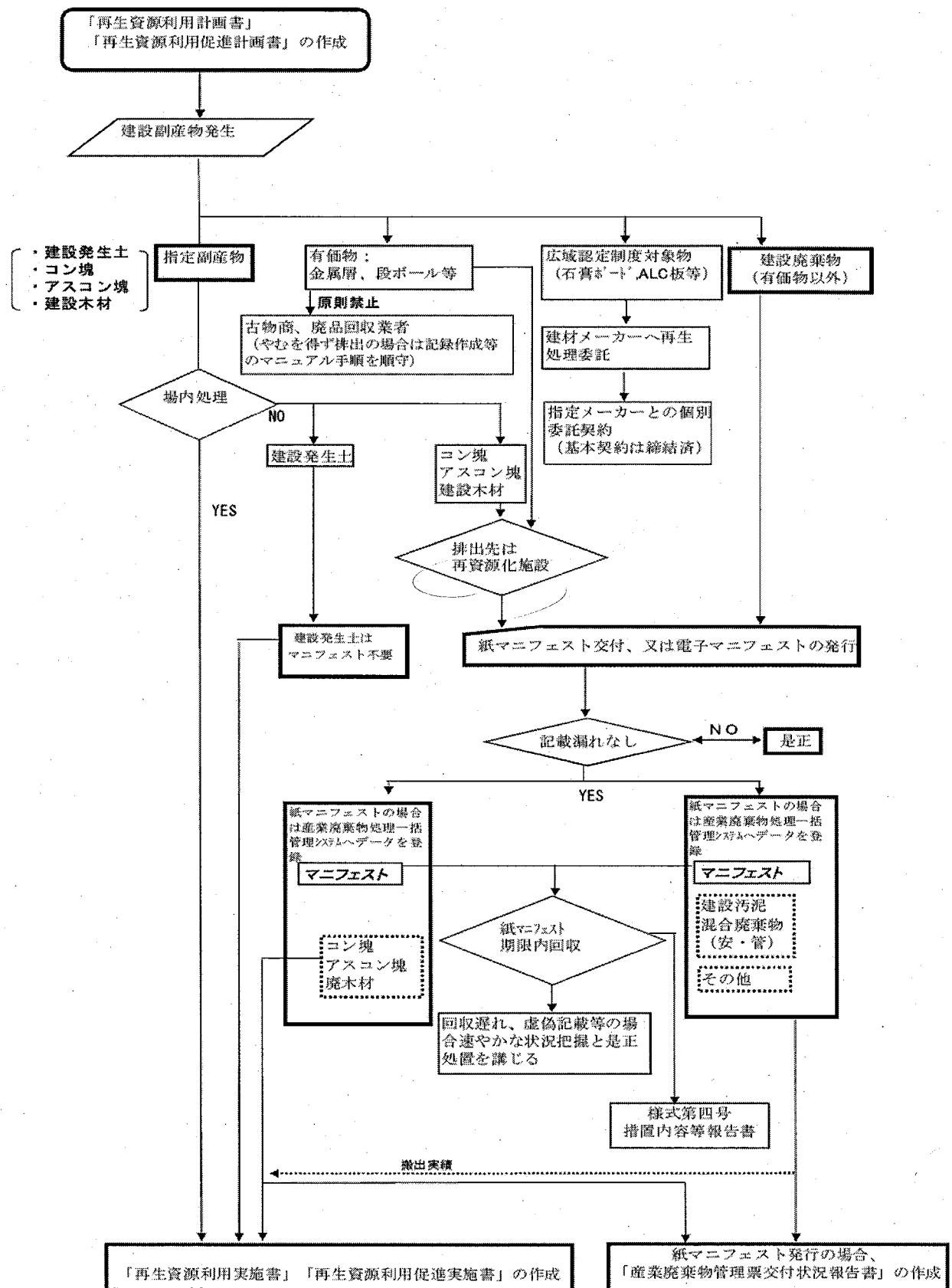
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

I. 実務編

2. 作業所における環境管理

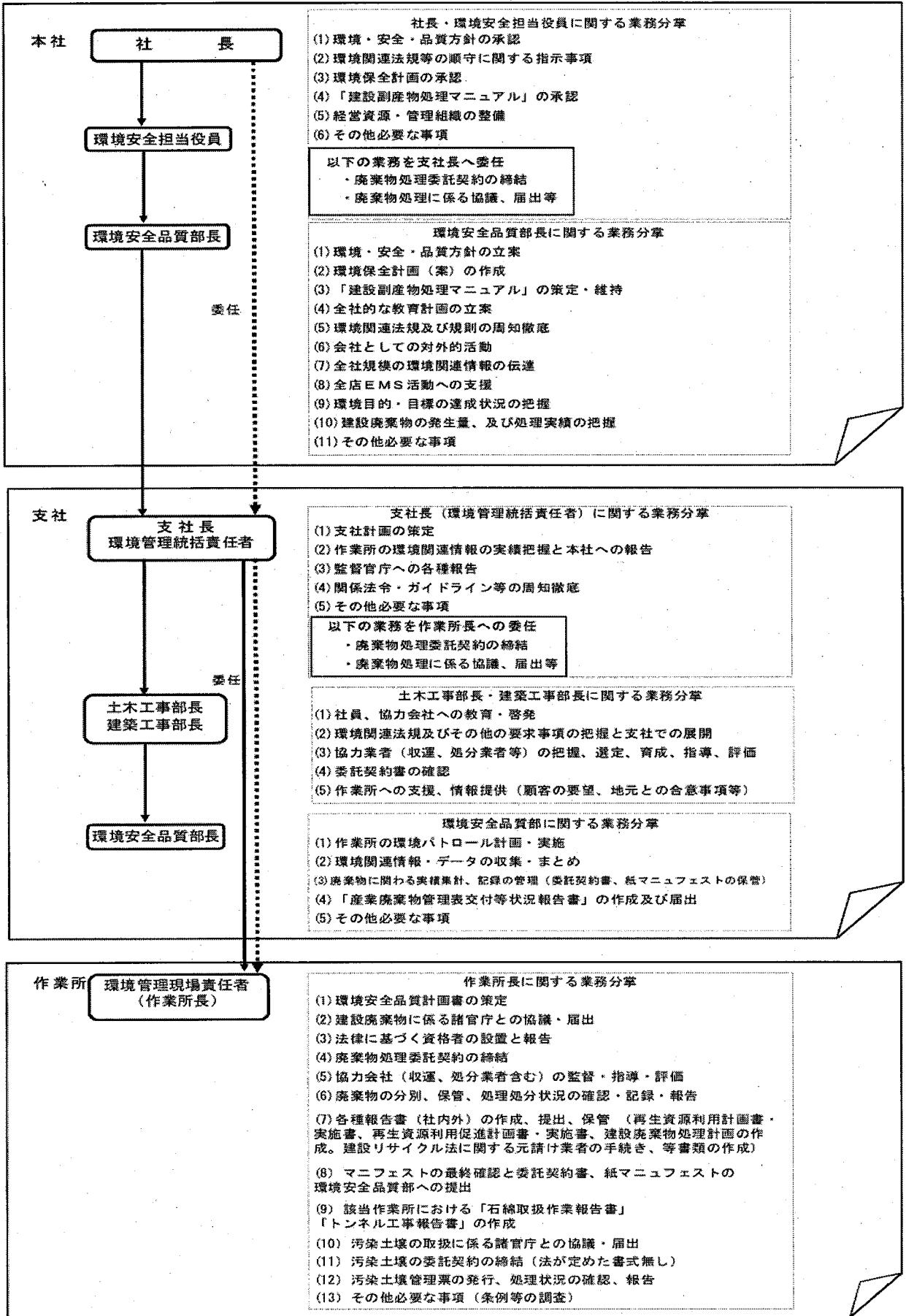
(1) 建設副産物排出管理フロー



※有価物（もっぱら物）の処理については実務編12頁及び解説編32頁参照

I. 実務編

1. 全社的な環境管理



(別紙3) 前年度実績表【令和元年度】

会社名		住所	名 称	固有番号	固有番号	電話番号	固有番号	FAX	電子メールアドレス
コード	名 称	施設等を有する事業者を有する店舗に該当する場合に該当する店舗等の名称	施設等を有する店舗等の名称	施設等を有する店舗等の番号	施設等を有する店舗等の番号	施設等を有する店舗等の番号	施設等を有する店舗等の番号	施設等を有する店舗等の番号	施設等を有する店舗等の番号
施設等の種類									
①川更									
②生活利用した量 (a)									
③自らが製造した量 (b)									
④販売された量 (c)									
⑤自らが販売した量 (d)									
⑥自らが販売した量 (e)									
⑦自らが販売した量 (f)									
⑧自らが販売した量 (g)									
⑨自らが販売した量 (h)									
⑩自らが販売した量 (i)									
⑪自らが販売した量 (j)									
⑫自らが販売した量 (k)									
⑬自らが販売した量 (l)									
⑭自らが販売した量 (m)									
⑮自らが販売した量 (n)									
⑯自らが販売した量 (o)									
⑰自らが販売した量 (p)									
⑱自らが販売した量 (q)									
⑲自らが販売した量 (r)									
⑳自らが販売した量 (s)									
㉑自らが販売した量 (t)									
㉒自らが販売した量 (u)									
㉓自らが販売した量 (v)									
㉔自らが販売した量 (w)									
㉕自らが販売した量 (x)									
㉖自らが販売した量 (y)									
㉗自らが販売した量 (z)									
㉘自らが販売した量 (aa)									
㉙自らが販売した量 (bb)									
㉚自らが販売した量 (cc)									
㉛自らが販売した量 (dd)									
㉜自らが販売した量 (ee)									
㉝自らが販売した量 (ff)									
㉞自らが販売した量 (gg)									
㉟自らが販売した量 (hh)									
㉟自らが販売した量 (ii)									
㉟自らが販売した量 (jj)									
㉟自らが販売した量 (kk)									
㉟自らが販売した量 (ll)									
㉟自らが販売した量 (mm)									
㉟自らが販売した量 (nn)									
㉟自らが販売した量 (oo)									
㉟自らが販売した量 (pp)									
㉟自らが販売した量 (qq)									
㉟自らが販売した量 (rr)									
㉟自らが販売した量 (ss)									
㉟自らが販売した量 (tt)									
㉟自らが販売した量 (uu)									
㉟自らが販売した量 (vv)									
㉟自らが販売した量 (ww)									
㉟自らが販売した量 (xx)									
㉟自らが販売した量 (yy)									
㉟自らが販売した量 (zz)									
㉟自らが販売した量 (aa)									
㉟自らが販売した量 (bb)									
㉟自らが販売した量 (cc)									
㉟自らが販売した量 (dd)									
㉟自らが販売した量 (ee)									
㉟自らが販売した量 (ff)									
㉟自らが販売した量 (gg)									
㉟自らが販売した量 (hh)									
㉟自らが販売した量 (ii)									
㉟自らが販売した量 (jj)									
㉟自らが販売した量 (kk)									
㉟自らが販売した量 (ll)									
㉟自らが販売した量 (mm)									
㉟自らが販売した量 (nn)									
㉟自らが販売した量 (oo)									
㉟自らが販売した量 (pp)									
㉟自らが販売した量 (qq)									
㉟自らが販売した量 (rr)									
㉟自らが販売した量 (ss)									
㉟自らが販売した量 (tt)									
㉟自らが販売した量 (uu)									
㉟自らが販売した量 (vv)									
㉟自らが販売した量 (ww)									
㉟自らが販売した量 (xx)									
㉟自らが販売した量 (yy)									
㉟自らが販売した量 (zz)									
㉟自らが販売した量 (aa)									
㉟自らが販売した量 (bb)									
㉟自らが販売した量 (cc)									
㉟自らが販売した量 (dd)									
㉟自らが販売した量 (ee)									
㉟自らが販売した量 (ff)									
㉟自らが販売した量 (gg)									
㉟自らが販売した量 (hh)									
㉟自らが販売した量 (ii)									
㉟自らが販売した量 (jj)									
㉟自らが販売した量 (kk)									
㉟自らが販売した量 (ll)									
㉟自らが販売した量 (mm)									
㉟自らが販売した量 (nn)									
㉟自らが販売した量 (oo)									

標目【令和2年度】
年度今
(別紙3)

出 所		名 称	田畠部番	担当者名	電話番号	FAX	子メールアドレス
生 所		被験者を相手とする事務を取扱う販賣する会社 に質問もしくは支給する会社	被験担当者の名前 被験担当者の氏名	被験担当者の会社名 被験担当者の会社名	被験担当者の電話番号 被験担当者のFAX番号		
金銭等の貸付 等の行為	大日本製糖株式会社西日本支社	大日本製糖新潟市下白山33号 新潟新潟ビル	田口部長	福井田中貢	025-222-1111	025-222-1111	子メールアドレス 福井田中貢@nifty.com
被験者別の質問	1 ①出資 ②販売額 不使用した額 (i) 入金した額 ③販売額 生産した販売額 の積算どおりの額 多 少	④自ら申請立 けられた額 (i) 入金した額 ⑤販売額 の積算どおりの額 多 少	⑥自ら申請立 けられた額 (i) 入金した額 ⑦販売額 の積算どおりの額 多 少	⑧自ら申請立 けられた額 (i) 入金した額 ⑨販売額 の積算どおりの額 多 少	⑩自ら申請立 けられた額 (i) 入金した額 ⑪販売額 の積算どおりの額 多 少	⑫自ら申請立 けられた額 (i) 入金した額 ⑬販売額 の積算どおりの額 多 少	⑭自ら申請立 けられた額 (i) 入金した額 ⑮販売額 の積算どおりの額 多 少
コード	2 600 類	2 ②プラスチック 類	20 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	3 700 ③紙す	3 ③紙す	10 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	4 800 ④木くず	4 ④木くず	30 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	5 811 ⑤竹林材・伐採根	5 ⑤竹林材・伐採根	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	6 910 ⑥複縫す	6 ⑥複縫す	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	7 1200 ⑦金属す	7 ⑦金属す	5 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	8 1300 ⑧アラスくぎ 延縫す	8 ⑧アラスくぎ 延縫す	5 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	9 1322 ⑨砲石管ボード	9 ⑨砲石管ボード	20 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	10 1500 ⑩その他がれき類	10 ⑩その他がれき類	20 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	11 1501 ⑪コンクリート塊	11 ⑪コンクリート塊	50 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	12 1502 ⑫グリート塊	12 ⑫グリート塊	30 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	13 2010 ⑬安型混合焼 物	13 ⑬安型混合焼 物	5 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	14 2020 ⑭管理型混合焼 物	14 ⑭管理型混合焼 物	20 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	15 2440 ⑮かさき類(石綿 含有)	15 ⑮かさき類(石綿 含有)	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	16 7421 ⑯底汚物桶	16 ⑯底汚物桶	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
多 少	17						
多 少	18						
多 少	19						
多 少	20						
	合計	297	0	0	0	0	100